



知って安心

# あなたのくすりと健康

聞いて安心



第101号

- 嚙まずにお飲みください…横浜旭中央総合病院 薬剤部 澤木 奈実子
- 遺伝子変異とがん個別化治療…大和市立病院 薬剤科 三田 恭平
- 薬物乱用について考えよう…賛助会員 久保田 貴子



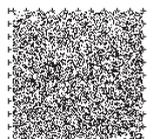
＜表紙写真＞くすり Get the Answers かながわ 推進委員会  
神奈川県病院薬剤師会は新型コロナウイルス感染対策に協力しています。  
～新型コロナワクチンをシリンジ内に採取する病院薬剤師～

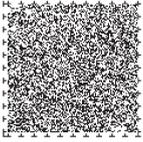
私たちは、市民の方々を対象に医薬品や健康に関する正しい知識の普及と啓発を目的とし、この小冊子を発行しています。小冊子には、音声コードが印刷されています。音声読みあげアプリ「Uni-Voice」と活字文書読みあげ装置の両方で使用できますので、ご活用いただければ幸いです。

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

2021年6月発行

音声コード





## 嚙まずにお飲みください

患者さんから、「薬が大きいから、嚙んでから飲んでいるよ」というお話を聞くことがあります。薬によっては、嚙んでしまうことで思った効果が得られなくなることもあるので、できるだけそのまま飲んでいただくようにお伝えしています。

飲み薬の色や形・大きさは、薬によって異なりますが、ほとんどの薬は有効成分に乳糖やセルロースなどの添加物を加えて作られています。それをそのまま錠剤の形に固めたものが「素錠」と呼ばれる薬ですが、薬の特徴や治療の目的によっては、薬の周りが加工されていることもあります。

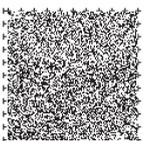
- 苦みや匂いが強い場合に、コーティングすることで感じにくくする  
／光から守る／湿気から守る（フィルムコーティング錠、糖衣錠）
- 胃に負担がかかりやすい場合や腸で効いてほしい場合に、腸で溶けるようにする（腸溶錠）
- 特殊なコーティングで薬がゆっくり溶けるようにし、長く効くようにする（徐放錠）

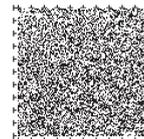
薬を嚙み砕くことでコーティングが壊れると、薬によっては成分や効き方が変わってしまうため、治療に影響が出てしまう可能性もあります。

同じ有効成分の薬でも、細粒などの粉薬、シロップなどの水薬、唾液で溶かして飲むOD錠など、違う形の薬が多く販売されています。近年ではジェネリック医薬品の発売によって、効果が同じで飲みやすく工夫された薬も増えてきました。

カプセル剤で飲めない、子供が薬の味を嫌がる等、薬が飲みにくいと感じている方は、ぜひ薬剤師にご相談ください。

IMS（イムス）グループ 横浜旭中央総合病院 澤木 奈実子





## 遺伝子変異とがん個別化治療

「がん」という病気は遺伝子の一部に起きた変化（遺伝子変異）の積み重ねによって起こると考えられています。一般的に、肺がん、乳がん、大腸がんといったようにがんは臓器ごとに診断がなされますが、遺伝子の「変異」を調べることで、より細かくがんの種類を分類することができます。近年の研究により、さまざまな「変異」の種類が見つかり、新たな治療に結びついています。このように遺伝子レベルでがんの特徴を捉えて一人一人に適した治療を行うことを「個別化治療」といい、現在の日常診療で広く行われています。

「個別化治療」では、遺伝子の「変異」により作り出された「たんぱく質を標的とする薬」を使用し、従来よりも治療効果が期待できるようになりました。「変異」の発現頻度はがん種ごとにそれぞれ異なり、半数近い患者さんで見られるものや、非常に稀であることもあります。なお、遺伝子変異検査は医師が治療上必要であると判断した場合に行われています。

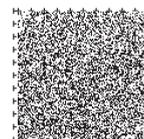
表1 主な遺伝子変異と薬剤

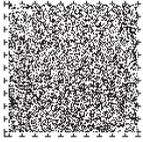
がんの種類	主な遺伝子変異	主な使用できる薬剤
悪性黒色腫	BRAF 遺伝子	ダブラフェニブ、ベムラフェニブ
胃がん	HER2 遺伝子	トラスツズマブ
大腸がん	RAS 遺伝子	セツキシマブ*、パニツズマブ*
	BRAF 遺伝子	エンコラフェニブ、ビニメチニブ
肺がん	ALK 融合遺伝子	クリゾチニブ、アレクチニブ、セリチニブ
	EGFR 遺伝子	ゲフェチニブ、エルロチニブ、アフアチニブ
	ROS1 融合遺伝子	クリゾチニブ
	BRAF 遺伝子	ダブラフェニブ、ベムラフェニブ
乳がん	HER2 遺伝子	トラスツズマブ、ペルツズマブ
	BRCA1/2 遺伝子	オラパリブ
卵巣がん	BRCA1/2 遺伝子	オラパリブ、ニラパリブ

※遺伝子変異がない場合に使用が可能

近年、がん種に限らず一度に数百種類の遺伝子変異を調べる検査を、厚生労働省が指定した専門機関で行うことができるようになりました（「遺伝子パネル検査」2019年6月より保険適用）。これまでの治療で効果のない方を対象としますが、一度に多くの遺伝子を血液検査等で調べる事が出来ます。この検査で新たな治療法が見つかる可能性がある一方、変異が見つかるにも対応できる薬剤が開発されていない場合もあります。現在、治療に繋がるケースは全体の1～2割とまだ少ないのが現状です。さらなる研究が今後進むことにより、新たな治療法が開発され、将来のがん医療を支えていく技術として期待されています。

大和市立病院 薬剤科 三田 恭平





## 薬物乱用について考えよう

「薬物乱用」とは、医療目的ではなく、ルールや法律から外れた目的・方法で薬物を使用することをいいます。乱用される薬物には、法で規制されている覚醒剤、大麻、コカイン、MDMA、危険ドラッグや指定薬物などが知られていますが、睡眠薬・抗不安薬などの医薬品でも意図的に誤った使い方をすれば「薬物乱用」となります。鎮痛薬や風邪薬などの市販薬でも使用目的によっては同様です。覚醒剤や麻薬などこれら薬物は、1回使用しただけでも「薬物乱用」にあたります。

覚醒剤や麻薬などの薬物に対する規制はなぜ行われているのでしょうか。これら薬物を不正に使用すると、興奮、抑制、幻覚といった「精神毒性」、脳への影響により繰り返し使用するうちに同じ量では効かなくなり、無意識に摂取量が増えていく「耐性」、薬物の効果を強く求めるようになり自分の意志でやめることができなくなる「依存」だけでなく、薬物を最優先するようになることから家族や友人へ嘘や暴言、暴力を働いたり、薬物入手のため犯罪や、幻覚・妄想や運動機能の異常から凶悪犯罪や交通事故を起こしたりなど、精神、身体だけでなく社会へも悪影響を及ぼします。薬物を止めても、睡眠不足や過労、ストレス、飲酒などをきっかけに幻覚・妄想などが現れる「フラッシュバック」が起こることもあります。薬物を求める脳の神経回路は元に戻らないので完治することはなく、再乱用の可能性は生涯続きます。このため覚醒剤や麻薬などの薬物は、使用、所持などが厳しく規制されているのです。

それでは、なぜ薬物を始めてしまうのでしょうか。「好奇心」から、「一回だけなら大丈夫」「みんなやってる」「タバコより安全」「最高の気分になれる」「やせる」「すっきりする」といった情報や、友人、先輩、上司などの誘いを断れないという事例が多いようです。思ったよりも身近でも起こっている場合があります。薬物の正しい知識を持ち、誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気が大切です。また、一人で悩まず相談することも重要です。

この他に、医薬品の乱用も問題視されています。鎮痛薬を頭痛の予防に服用しているうちに量が増えて「薬物乱用頭痛」が誘発されることが知られています。安易に手に入る市販薬だから安全ということでもありません。薬は、適正に使用しないと良くなるどころか、症状が悪化したり、副作用のほうが強く出たりすることもあります。市販薬も処方された薬も用法用量を守り、症状が改善しない場合は早めに医師への受診や、薬剤師への相談をするようにしましょう。

いま一度、薬物乱用について考えてみませんか。



神奈川県病院薬剤師会 賛助会員 久保田 貴子

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 GTA 委員会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

ホームページ <https://www.kshp.jp/>

